



2019-2020年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
世界をつなぐ**

R I 会長

マーク・ダニエルマローニー

第2720地区ガバナー	瀧	満
第2720地区ガバナーエレクト	硯 川 昭	一
大分第3グループガバナー補佐	田 中 洋	一

第2720地区 大分第3グループ

別府東ロータリークラブ

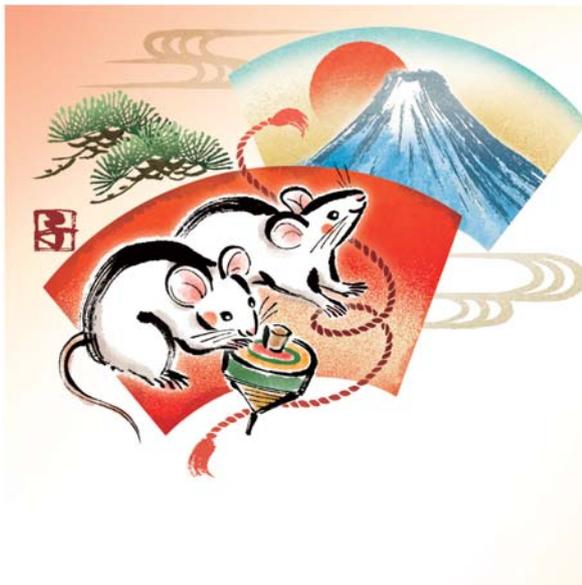
例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：杉乃井ホテル
 ホテルサンバリアアネックス
 事務所：別府市西野口1番1号
 〒874-0931（青山通りビル3階）
 TEL (0977) 23-9000
 FAX (0977) 23-9019
 E-mail: info@beppu4rc.jp
 http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 山下布美代 幹事 石田 啓三

VOL. 41-No.26 2020年1月16日

第1946回例会

公共イメージ委員長 羽田野 徹



“「自考・自行・自高」の精神で！”

別府東RC 会長テーマ

—職業奉仕月間—

■ 点 鐘 12時30分

■ ロータリーソング 我等の生業

■ 唱 和 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

■ 今日の歌 「雪山讃歌」

雪よ岩よ われらが宿り
 俺たちや町には 住めないからに
 俺たちや町には 住めないからに

■ 出席報告 委員長 神田 剛

本	会員総数	42名	ゲスト	3名
	出席数	26名	ビジター	2名
	欠席数	16名	出席率	61.90%
前々回の出席率		50.00%	修正出席率	55.26%
			100% 通算	1579回

■ メイクアップ

事前 長野(大分)

■ 欠 席

安部、児玉、久保田、榎田、西、森、二宮(秀)、
 岡本、尾方、但馬、詫磨、山下(唱)、川本、
 赤嶺、梅津

■ ビジター

中野通孝(大分RC)、玉ノ井溥明(別府北RC)

■ ゲスト

岩屋毅氏(衆議院議員 前防衛大臣)

岩屋恒久氏(岩屋毅事務所 衆議院議員秘書)

ワルダナ、トリスカ シャタワ ウィスヌくん

(米山奨学生)

■ 会長の時間

会長 山下布美代

皆様、こんにちは。

朝夕と日中の気温差も激しく、体調管理には十分気をつけられてください。

半期、経りましたが改めて2019~2020年度のRIマローニー会長のテーマでもあります「ロータリーは世界をつなぐ」にも見られますよう、ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長は信じていらっしゃいます。

ロータリーで私達は、お互いの違いを考え、深く意義ある形でお互いにつながることが出来ます。

ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと職業上の機会、そして私達の支援を必要とする人々とのつながりをもたらしてくれています。

また、ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私達は人類の素晴らしいダイバーシティとつながり、共通の目的において末永く続く、深い絆を創り出しているとも言えます。

つまり世界がこれまで以上に分断する今日、私達全員をつなぐのはロータリーでございます。

マローニー会長は、おっしゃっています。

「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。またロータリーは、他の組織には、かなわないものを提供しています。

それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラであるということです。」と！

■ 幹事報告 幹事 石田 啓三

1. 本日の卓話

「日本の防衛について」

衆議院議員 前防衛大臣 岩屋 毅氏

2. 「R I 第2720地区佐伯RC創立60周年記念式典」開催のお知らせ

日 時 2020年3月7日(土)

16:30~17:00登録受付

14:30~記念講演

17:15記念式典

18:30記念祝宴

場 所 記念講演会：佐伯文化会館大ホール
式典・祝賀会：ホテル金水苑

記念講演 「日本の進路と誇りある国づくり」
ジャーナリスト・

(公財)国家基本問題研究所理事長
櫻井よしこ氏

登録料 会員12,000円 ご家族10,000円

*詳細・登録申し込みは、幹事または事務局までお申し出ください。

3. 第6回定例理事・役員会報告

(2020(令和2)年1月9日(木)17:45~於ホテルサンバリーアネックス 13名出席)

審議事項

1号議案 2019-2020年度後期会費納入金並びに立替金請求の件。

*6号議案に関連

=例会数 昼16回 夜6回 合計22回

2号議案 新会員候補者選考経過報告の件。

甲斐文明氏税理士法人幸会計事務所 代表社員
職業分類「税理士(Tax Service)」

【今後の予定】

1月9日 理事会へ報告

1月9日 18:30~例会・新年会ゲスト出席

1月16日 12:00~インフォメーション

12:30~入会式

於ホテルサンバリーアネックス

3号議案 国際ロータリーより、クラブ専用メールアドレスを新規に登録要請の件。

現在、合同事務局登録のinfo@beppu4rc.jpは、

別府RC専用アドレスとなる為、当クラブ専用E-mailアドレスを

「jigoku@beppuhigashi-rc.jp」に変更承認

4号議案 1月生まれ会員3名の「お祝い例会」開催の件。

(神田 剛会員・喜寿、加藤兼司会員・古希、中塚茂次・還暦)

日 時 令和2年1月30日(木)18:30~

場 所 ホテルサンバリー若潮 *希望

会 費 2,800円

(食事費2,700円補助 不足分を徴収)

5号議案 「職場例会」開催の件。

日 時 令和2年2月13日(木)12:30~

場 所 別府市公会堂

(百膳弁当手配 お茶付き1,650円)

6号議案 定款第7条第1節により休会する例会日の件。

3月19日*法定休日の週を休会

定款第7条第1節(d[1])

3月20日：春分の日

4月30日*法定休日の週を休会

定款第7条第1節(d[1])

4月29日：昭和の日

5月7日*年間4回まで休会(4回目)

定款第7条第1節(d) それ以外

報告・確認事項

1. 太田直希会員より事業所変更の報告

現事業所 ライフデザインラボ(株)代表取締役

〒870-0030 大分市三芳1991番地の1

新事業所 病児保育コンサルティング(株)

代表取締役社長

〒870-0022 大分市大手町3丁目2番1号

アネックス大手町101号

☎097-578-7613 (2月より開通予定)

*職業分類に変更はありません

2. 例会予定の確認

1月<職業奉仕月間>

1月2日「定款第7条第1節により休会」

:年間4回まで休会(3回目)

9日「新年家族会」18:30~

於ホテルサンバリーアネックス

16日「日本の防衛について」

衆議院議員 岩屋 毅氏

23日「年男年頭所感」

榊田 浩、高橋 郁、石田啓三各会員

30日「神田・加藤・中塚各会員お祝い例会」

(年頭所感：中塚茂次)

2月<平和と紛争予防/紛争解決月間>

2月6日「ロータリー財団について」

RI第2720地区R財団グローバル補助金

ポリオプラス委員長 高見裕司氏

13日「職場例会」12:30~

於別府市公会堂

20日「青少年交換受け入れ学生卓話」

デクラン、モーガンブリーンくん

27日「会員増強(夜)例会」(予定)

新入会員入会式



氏名 甲斐 文明 (かい ふみあき)

生年月日 昭和26年5月15日 68歳

事業所 税理士法人 幸会計事務所
代表社員

〒874-0930

別府市光町20番21号

電話 0977-23-3145 FAX 22-9708

携帯 090-7155-8992

職業分類 税理士 (Tax Service)

所属委員会 親睦委員会

推薦者 神田 剛

3月<水と衛生月間>

3月5日「第3回クラブ協議会」

12日「ゲスト卓話」

19日「定款第7条第1節により休会」

26日「豊後大野・日出・別府東RC合同
花見例会 (予定)」(ホスト)

4. 本日、12:00~ホテルサンバリーアネックスに於いて「新会員候補者(甲斐文明氏)へのインフォメーション」を開催致しました。

5. 例会変更のお知らせ

○津久見RC: 1月28日(火)の例会は、『植樹例会』の為、同日12:50~植樹(例会場所未定)に時間・場所変更

○大分城西RC: 1月29日(水)の例会は、『新会員歓迎例会』の為、同日18:30~(場所未定)に時間・場所変更

○大分中央RC: 2月4日(火)の例会は、『クラブ内研修会』の為、同日12:30~四季へ場所変更

*別府北RC: 1月29日(水)の例会は、ありません。

6. 次週(1月23日)例会の予定

「年男年頭所感」

梶田 浩、高橋 郁、石田啓三 各会員

7. 本日の回覧

①1月23日例会出・欠席

②会員お祝い例会(1月30日)出・欠席

③くにさきRC週報

8. 本日の配布

①週報No.1945

■お祝い

会員誕生日 加藤 兼司会員(1月19日)

夫人誕生日 塩見 泰美さん(1月16日)

*ご自宅にお花とお菓子をお届けします。

結婚記念日 竹内 孝夫会員(1月18日)

*ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。

皆 勤 久保田高史会員(1月8日=5年)

尾方 義顕会員(1月12日=3年)

■ニコボックス

委員長 梶田 浩

○中野通孝(大分RC)会員 大分RC会長エレクトの中野と申します。昨年5月別府東クラブさんの40周年に参加させていただき、色々と勉強させていただきました。大分クラブは来年4月70周年記念式典を予定しており、今日は色々と教えていただこうと思います。よろしくお祈りします

○山下布美代会長、石田啓三幹事 本日、岩屋代議士にはお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。卓話をとても楽しみにしています。又、山下年度始めの新会員さんにご入会頂きました、甲斐新会員宜しくお祈り致します。2口ずつ致します。

○檀上陽一会員 前防衛大臣岩屋毅先生のご来訪に感謝と敬意を込めて 3口!

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある:

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること;

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること;

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

日本の防衛について

衆議院議員 前防衛大臣 岩屋 毅 氏

今日は伝統ある別府東ロータリークラブの例会に声をかけて頂きましてありがとうございました。お仕事の傍ら地域の為にご奉仕を頂いている皆様から敬意を表し、お礼を申し上げたいと思います。私の父も約15年間別府ロータリークラブの会員としてお世話になった時期があり、私も当時の家族会に何回か出席したことを思い起しています。

去年は9月まで約1年間という短い期間でしたが、防衛大臣の役を頂戴し、微力ではありましたが25万人の自衛官とともに日本の平和、国民の平和な暮らしを守るという仕事に私なりに全力を尽くさせていただきました。これもひとえに長い間未熟な私をご指導いただいた地元の皆様のおかげでございまして、改めて心から感謝しているところでございます。

1年間の防衛大臣在任中は本当に色々な事があり、今考えると毎日のように記者会見を開いていたように思います。しかも、そのうち半分位は謝罪の会見だったと思います。就任直後から自衛隊の事故や最新鋭機の墜落、米軍の事件などがあり、様々な事案の対応に追われた1年間でもありました。

特に大変だったことの一つに韓国との関係がございました。就任直後に韓国が主催する「観艦式」という海軍の祭典があり、我々も友好国として海上自衛隊の艦船を派遣しようと準備していましたが、開催日直前になって海上自衛隊の艦旗として使用している「旭日旗」を掲げて参加しないでくれという通知がありました。自衛隊の艦旗は自衛隊員にとっての誇りの対象、シンボルですから、観艦式に旗を降ろして参加するわけにはいかないと、「観艦式」への参加を見送るという事がありました。その時に「文在寅政権」の下では日韓の防衛協力がもしかすると危くなるのではないかと嫌な予感がしたのです。その後起こったのが「レーダー照射事件」でした。レーダーにも色々あるのですが、射撃用のレーダーを照射されたというのは、非常に危険な行為ですので、すぐに韓国側に問い合わせました。その時に「調べたら現場のミスだった。すまなかった」と言ってくれば大きな問題にはならなかったのではと未だに残念に思うのですが、韓国側はレーダー照射を否定したばかりではなく、「日本の哨戒機の飛び方が悪い」「危険を感じる飛び方をしていた日本側が悪い」という返答だったので、やむをえず公表して抗議をすることになりました。その後、事務レベルで何回か協議をさせましたが、韓国側の態度が更に硬化していくことになりましたので、私はトップ同士が協議をする他ないと考え、シンガポールで行われたアジアの国防大臣会議の際に韓国の国防大臣に会おうという提案をし、非公式会談という形で



会いしました。会談の詳細につきましてはお話できませんが、私が申し上げたのは「大事なことは今後2度とこういうことが行ならないようにすることだ。それを二人で約束しよう」ということでした。

その後、日本と韓国の軍事情報包括保護協定「GSOMIA」（ジソミア）を韓国側から破棄を通告してきたという問題もありました。韓国の国防長官は叩き上げの軍人ですから日米韓の関係が大事なことは解っている。韓国の外務大臣もベテランの外交官ですから解っている。後で聞いた話によると国防大臣や外務大臣は「GSOMIA」の破棄に反対したけれども、大統領が今日本との間に友好的な雰囲気をつくるべきではない、貿易ではむしろやられているのではないかと、ということで最後に引っくり返したという事のように思っています。今は何とか繋がっているという事は安全保障上良かったと思います。韓国との付き合いは様々な問題があっても難しいと感じています。しかし、永遠の隣国でもありますし、何かあった際は日本も韓国も米国の同盟国であり、在韓米軍・在日米軍・韓国軍・自衛隊が協力しあって初めて地域の平和が守れます。難しい問題はじっくり時間をかけて粘り強く話をする事として、「防衛協力」だけはしっかりと維持していかなければならないと思っております。そのことは後任の河野太郎防衛大臣にも受け継いでもらっていると思っています。

もう一つは北朝鮮です。私の在任中だけで8回ミサイルを撃たれました。大体が朝早いのですが、その度に防衛省に飛んでいき情報を分析し、記者会見を行うという事が続きました。

それから、もう一つ苦労したのは沖縄の問題です。普天間の飛行場も視察に行きましたが、周りは住宅密集地で幼稚園や学校があれば病院もあり、「世界で一番危険な軍事基地」だと改めて強く感じました。アメリカが日本にこの基地を返すと決めたのは24年前で、当時の橋本総理とモンデール駐日大使との間で話をし、橋本総理が返してほしいとお願いしてから二日後に返すと決まったのに、それから24年間一歩も動かず今日を迎えていたわけです。私はかねてからこの問題を考え続けてきたので、工事に着手しようと防衛大臣になった時に決心し、一昨

年の12月に辺野古への埋め立て工事に着手させていただきました。丁寧に進めなければならないと思い、在任中に7回、玉城知事とお会いしました。もちろん平行線ではありましたが、丁寧に政府の考え方を説明させて頂いたところでございます。

今思うと民主党政権の時のダッチロールが本当に痛かったと思います。当時の沖縄の知事さんも賛成し、名護市の市長さんも賛成し、もっと早く工事にかかれるはずだったのに、「最低でも県外」と言い出してダッチロールが始まりました。民主党政権も最後は辺野古しかないと決めたにも関わらず今日もなおお争点になっているのでございます。辺野古にはアメリカの基地がありその沖にV字型の滑走路を造ってオスプレイを飛ばそうということですから、海の上を飛ぶので住宅地の上を飛ぶのとは全く違い、はるかに安全です。また、普天間基地は東京ドーム103個分の広さがあるのでそれを沖縄振興の為に開発して県民の皆様のために使っていくことが大事だと思います。この24年の間に北朝鮮や中国の脅威が増してきている。沖縄における海兵隊の抑止力を減らすわけにはいかない。自衛隊の基地も作っていますが、プラス海兵隊の抑止力をもって沖縄を守っていくこうしているわけです。尖閣諸島も沖縄県です。このことは沖縄の皆様のみならず国民の皆様にもご理解を頂いていかないといけないと思います。そして、「イージスアショア」です。日本はイージス艦というミサイルを撃ち落とせる船を8隻にし、それをローテーションしてミサイルから日本を守ろうという体制をとっています。しかし、イージス艦は船ですから24時間365日海に浮いているわけにはいかないわけです。最近、ミサイルを移動させてどこからでも発射できる技術が向上しているのです、船だけの構えでは間に合いません。地上にしっかりとした装置を置かなければいけないということで「イージスアショア」が必要となってくる訳です。日本で2カ所設置すると日本の空すべてをカバーできるので秋田県、山口県を選ばしていただいて、自衛隊の演習場に置かせて頂くこうということで説明に入りました。しかし、資料等にミスがあったり、現地での説明会で防衛省の職員が居眠りしたりという事件があり、膠着状態に陥りました。これは防衛省のミスですから大臣自らが出向き、知事さんや市長さんにお目にかかってお詫びを致しました。今後、資料を作り直し、調査をし直し、再度説明をさせて頂くという事で現在に至っています。もしかしたら場所は変わるかもしれませんが山口県の中、秋田県の中に置いていただけないと日本の空全体をカバーできないのでそこはご理解を頂きたいと思っています。

このように色々な事がある中でしたが、向こう10年間の防衛の方針と、向こう5年間の装備の計画の改定をさせて頂きました。向こう10年の防衛方針のキャッチフレーズは「多次元統合防衛力」です。これからは陸海空だけでは守りきれない、これに「宇宙」「サイバー」「電磁波」という新しい領域を加え

る。サイバー部隊、最終的には宇宙部隊をも作らなければならないという方針を示させて頂きました。

防衛省の装備には費用がかかります。1年間の予算では賅えないので防衛省は5年計画で予算を作っているのです。向こう5年間の予算が総額25兆2千億円と決まりました。これは、いまなおGDPの1%以下であり、その費用で必要最小限の装備を整えていますのでご理解を頂きたいと思います。

既存の護衛艦を改修し、そこに戦闘機を乗せるといった案が目されました。常時戦闘機を積もうとしているわけではありません。太平洋側には自衛隊の戦闘機が着陸できるところが硫黄島しかないのです、万が一の時には護衛艦に垂直に降りれる戦闘機を乗せられるようにしようという考え方でございます。

今年の中東へ自衛隊を派遣することとなりました。私が大臣の時にアメリカ軍の傘下に入ることはやめようと考えていました。イランは友好国でもありますし、イランの周辺国にもなぜ日本が自衛隊を派遣するかを良く理解してもらった上で派遣することが必要だと考えていました。

習近平中国国家主席の今年春の来日が予定されています。現在、尖閣諸島には年間約1000隻の中国の船が入ってきている。また、自衛隊のスクランブル発進は年間約1000回でそのうちの約三分の二は中国機に対して行っております。そのような行動を控えて欲しいというメッセージはしっかりと伝えていかなければならないと思っております。

最後に、この度、憲法審査会の幹事にならせていただきました。25万の自衛官と一緒に仕事をしてみて、今なお、ほとんどの教科書に「自衛隊は憲法違反、もしくはその疑いがある」と書かれた教科書で子供たちが学んでいるという現状があり、これだけは解消したいという思いを強くしたところです。国民の皆様は常識で判断される。その常識は正しいと私はいつも思っております。誰も侵略をするような国にはなりたくないと思っているし、一方で誰も侵略をされるような国にもなりたくないと思っておられる。だから自衛隊の存在を認めて下さっているし、災害の時にも自衛隊の活躍を評価していただいていると思っております。

ですから現在の自民党の憲法改正案は憲法9条の1項2項そのまま残し、その上で「自衛隊」というものを付け加えるという考えです。

これは国民の皆様のご常識に沿った案なのではないかと思っております。なかなか議論は国会では進んでいませんが、ぜひこれを進めて、国民の皆様のご常識に沿った改正ができるようにしたいと思っております。ぜひ皆様のご理解と応援を頂きたいと思っております。

結びにこの1年間の皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りし、また別府東ロータリークラブにとっても充実、発展の1年になりますように心からお祈り致します。ご清聴誠にありがとうございます。

President's message

RI 会長メッセージ

ロータリアンとロータリー家族の皆さん

世界中の人々が、さまざまな理由でロータリーに入会します。私もそうでしたが、「ロータリーはキャリアに大きなプラスとなる」という理由で、毎年多くの新しいロータリアンが入会しています。アラバマ州で新人弁護士としてスタートを切った時、私は妻のゲイと共に彼女の父の弁護士事務所の共同経営者になりました。ロータリーに入れば人脈を築くことができ、職業上求められる以上に確固とした価値観を持つ真摯な職業人だと潜在顧客に示すことができる、と妻の父に教わったのです。

ロータリーの職業奉仕は、事業や職業において最も高い倫理基準の中で、あらゆる職業を尊重し、ロータリアン一人一人の職業を社会に奉仕する機会として重んじる心に基づいています。そして最後の点は非常に重要です。どんな職業であっても、誠実に、常に「四つのテスト」に従って働けば、誰もが世界に大きく貢献できるということです。

私は会長として、職業人としての生活、家庭人としての生活と、ロータリー活動のバランスを取ることを優先事項に掲げています。ボランティアの役職として必要以上の時間を割かねばならない、というプレッシャーをロータリアンが感じることがあってはなりません。これには理由が幾つかありますが、その一つは、ロータリーでは、職業人として行う活動も、ロータリーとして行う活動と同じように重要だからです。私たちがいつどこにいても、ロータリーの理念は私たちと共にあります。そして、職業上の成功は、職場で働く毎日の中でロータリーの素晴らしさを伝えるものとなるのです。

これは特に、若い人々をロータリーに招き入れる上で大きな意味があります。よいロータリアンであること、よい親であること、よい事業家であること、よい管理職であること、よい従業員であること、そのいずれかを選ばなくてもいいロータリーをつくりたいのです。多忙な若い世代に入会を求める際、時間や自由を犠牲にすることを求めてはなりません。ロータリーの活動は、彼らがすでにしていることが、より一層意味深いものとなるような体験であるべきです。

よりバランスの取れたロータリーには、他の利点もあります。さまざまなロータリアンやローターアクターが、プロジェクトや委員会でリーダー役を引き受ける機会が生まれます。クラブ活動に積極的に参加するようになり、一生ロータリアンであり続けるインスピレーションが得られます。

ロータリーは職業奉仕、および職業上の人間関係の中で私たちが実践する伝統的価値観により、世界中で尊敬を集めています。ロータリーの成長を促す中で、入会候補者への一番のセールスポイントは職業奉仕であることを忘れてはなりません。

ロータリーは世界をつなぎます。そして、ロータリーの職業奉仕をより多くの業種の、よりさまざまなライフステージにある人々に知らせることで、ロータリーはさらに成長し、より強く、多様性に満ちていくのです。



どんな職業であれ、誠実に、常に「四つのテスト」に従って働けば、誰もが世界に大きく貢献できるのです。

MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーの友 

Home Page

原文 (英語) はこちらから

www.rotary-no-tomo.jp